

平成 29 年度 事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人遠野まごころネット

1 事業実施の方針

東日本大震災から 7 年が経過し、中心市街地が壊滅的な被害を受けた大槌町や陸前高田市でも嵩上げ工事がほぼ完了し、住宅再建が進んだ一方、被災者の生計再建は二極化が進む状況です。

熊本地域の大地震災害、台風 10 号による岩手県岩泉町を始めとする地域の復興活動は、長期的な取り組みが続いています。

本年度事業は、従来から継続している、被災者の中でも弱い立場の高齢者・女性等に寄り添い、見守り、雇用の確保、地域コミュニティづくりサポート活動等をより実のあるものにするための「被災地復興支援」、地域の特性を生かす「風土を生かした地域づくり」、第六次産業化の推進、交流人口の拡大、雇用の確保に取り組みました。

具体的な事業は、就労支援事業の充実を図るため、工事を進めていた釜石事業所の新施設が 10 月に完成し、旧事業所の閉鎖と引っ越し作業をすすめ、11 月 1 日から新施設で業務開始しました。

これに併せ、主たる事業所を釜石事業所に変更、就労継続支援 B 型の定員 5 名増も行いました。就労支援内容は、ソーシャルファームワイナリーの目標に向かってワイン用のブドウ生産、まごころグッズ等の製作、新商品の企画、販売収入の拡大に努めました。

個人、企業、団体などのボランティア受け入れと被災地支援活動は、大槌地区の「まごころの郷」農園を活用した憩いの場づくり、釜石天洞地区や遠野寒風地区のぶどう園、遠野米通地区のバジル園等の生産活動へのボランティアの受け入れ、就労支援事業利用者はもとより被災地等住民との交流の拡大を進めました。

天洞地区や寒風地区のぶどう園の取り組みは、国内産のぶどうが不足することが見込まれる折、国内産ぶどうの生産量を確保すること、今年度、寒風地区に 1, 200 本のぶどう苗を新たに植栽し、寒風地区は 1, 700 本に、天洞地区は、1, 000 本のぶどうが栽培されています。

また、自前の醸造所を持ちたいとの予てからの構想を持っていましたが、パークレイズ就農支援プログラムのご支援により、遠野市宮守町鱒沢の柏木平地区にある「遠野ビール苑」の地下に醸造施設を整備し、昨年 12 月 1 日、醸造許可を取得し、ワインだけでなくリングを原料とするシードルの醸造も可能になり、新年度で販売します。

醸造技術は、一朝一夕に身につくものではないですが、長野県の蓮見氏の指導のほか、県の工業技術センター等の研修を重ね、ぶどうの生産技術、加工のノウハウの向上図り、販売ルートの確保のため試飲会、販売会等に積極的に出品し、知名度アップに努め、農作物の生産、商品への加工、販売という第六次産業化や雇用創出、地域振興に小さくても寄与できたと自負しております。

関東事務所では、全国商工会連合会の補助で、アンテナショップ運営を行い、三陸地域や熊本地域等の被災地事業者の商品の販売を通じて、首都圏から被災地への経済支援に努めました。

限界集落の地域おこしプロジェクト「米通結いとりの郷」は、地元との協働で運営する食堂の営業、産直については、各種の条件をクリアできずに実現ができませんでした。

三陸海の盆は、宮古市田老地区で開催し、2, 000 人程の集客ができ、地域の祭り支援、郷土芸能の伝承・復活支援、観光資源の紹介・プログラム化に寄与できたと考えています。

サンタが 100 人やってきた！プロジェクトには、昨年も 100 人越えのボランティアが駆け付け、釜石、大槌で活動出来ました。

岩手県の高校生をドイツに派遣し、知見を広めてもらうことで将来の復興の力とする『翼』独

日高校生交流プロジェクト」は、5年の最終年で、県内の高校生6名を派遣しました。

また、被災地子ども支援プロジェクト「まごころサンタ基金」は、平成29年度も奨学金給付事業を引き続き実施し、前々年度から実施している、より支援を必要とする学生等を手厚く支援する制度も継続し、対象者を始めとする関係者から感謝の便り等を多くいただきました。

国外での復興支援は、ネパールのジョロンゲ村の復興のため、学校教材の支援、なりわい創造支援を行い、事務局体制の充実、強化では、人材確保が難しく、今後の課題です。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	時期	場所 地域	従業者数	対象範囲 予定人数	支出見込額(千円)
海外を含む被災者支援のための情報収集、発信、コミュニティ再生、なりわい創造支援事業	自然災害の被災地、被災者への復興支援活動の企画立案および実施（インターネット等による情報提供・交流、ボランティア派遣、支援物資の提供、産業再生・アドバイザー斡旋等）	通年	岩手県沿岸被災地、熊本地方、岩泉町等	3	岩手県沿岸被災地、熊本県、岩泉町等の被災者	31,996
	海外での被災地支援として、ネパール等の大地震被災地等の支援活動の展開、		ネパール等国		ネパール約500人、	738
	支援活動から得られるノウハウの蓄積並びに今後の自然災害時に活かせる支援活動マニュアルの策定、被災地研修の受け入れ		岩手県沿岸被災地等		人事院研修、企業研修等約200人	307
	総合相談支援事業、メンタルプログラムの企画立案及び実施、助け合いセンターの運営		岩手県、大槌、遠野			3,979
	被災地支援物品販売事業 アンテナショップ運営事業、まごころグッズ等販売による風化防止及び内職支援、		通年		事務局、川口市等	3
指定就労支援事業	障害福祉サービス事業所の運営 (就労移行支援、就労継続A、就労継続B)	通年	釜石市・大槌町ほか	12	釜石市、大槌町 外利用者	32,747
支援団体間の交流連携のためのネットワーク構築事業	被災者、支援者間の交流促進及び支援者同士の連携を図るまごころネットワークづくり、青少年を対象とした防災学習ネットワーク事業、学習支援事業	通年	全国、ネパール等	2	全国、ネパール等	5,951
自然資源調査・活用事業	自然資源の調査、観光産業（自然探訪ツアー等のプログラム化）の振興、自然資源の維持・保全の推進、交流人口拡大モデル事業等の実施	通年	遠野市、三陸沿岸地域等	2	遠野市、三陸沿岸地域等	3,555
農林水産物の生産加工および販売事業	6次産業化事業の一環としてワイン用ブドウ、パジル等の栽培と商品開発、食品加工所等の運営、たすけあいセンター、未来工房の運営等、被災地等の原料を使用したシードル、ワインの委託醸造、販売事業及び醸造免許の取得	通年	釜石市、大槌町、遠野市	3	釜石市・大槌町・遠野市、	5,071
					支出見込金額 (千円)	107,866

(2) その他の事業

今年度予定なし